

# けんぽく農林ニュース

～「くだもの・きゅうり・花き王国の飛躍と農林行の持続的な発展」～


令和 5年 6月30日発行 第98号







**今年もさくらんぼが採れました！**  
県北地方の初夏の味覚  
「佐藤錦」をお召し上がりください。

～目次～





- ◆「令和5年度園芸作物及び林産物緊急時モニタリング説明会」の開催 P 1
- ◆山木屋地区で「高原のそばまつり」の開催！ P 2
- ◆「令和5年度県北地方新規就農者等確保・育成連携会議」を開催しました！ P 3
- ◆農業水利施設合同診断 P 4
- ◆ため池等整備 0401 工事 荒池地区現地研修会 P 5
- ◆国見町貝田地区 ほ場整備事業竣工記念碑の除幕式 P 6
- ◆地すべり防止区域定期点検の実施 P 7
- ◆JAふくしま未来伊達地区本部「農業塾」が開講しました！ P 8
- ◆6次化の推進と企画推進員の御紹介 P 9
- ◆大玉村で福島県トップブランド米「福、笑い」の田植え式を開催 P1 0
- ◆「田んぼの学校 開校式・田植え」を行いました！ P1 1
- ◆森林保全巡視員への辞令交付について P1 2
- ◆国見小学校児童が「天のつぶ」の田植えをしました P1 3
- ◆県オリジナル酒造好適米品種「福乃香」でつくられたオール本宮のお酒が完成 P1 4
- ◆「指定棚田地域の指定」を受けた管内の棚田の紹介 P1 5
- ◆豪雨災害 備えていますか？ P1 6


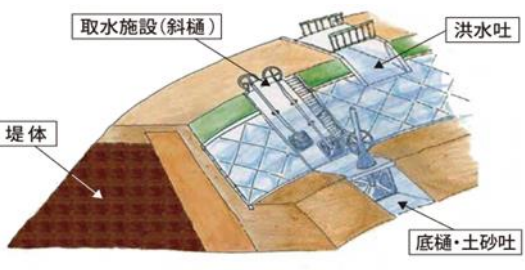
<p>題名</p>	<p>「令和5年度園芸作物及び林産物緊急時モニタリング説明会」の開催</p>
<p>本文</p>	<p>令和5年4月19日（水）、福島県農業総合センター果樹研究所大会議室で、当所主催の「令和5年度園芸作物及び林産物緊急時モニタリング説明会」を開催しました。</p> <p>当日は、県北管内の市町村、福島中央青果卸売株式会社、JAふくしま未来、伊達果実農業協同組合等の職員が参加し、当所担当者から園芸作物及び林産物の緊急時モニタリングに関する説明を行うとともに、本年度の進め方を確認しました。</p> <p>参加者からは、果樹や山菜類のモニタリングの進め方等について質問があり、それぞれ当所農業振興普及部と森林林業部の担当者から、詳しい説明がありました。</p> <p>今後とも、関係機関・団体と協力しモニタリング検査の円滑な実施と、出荷制限品目等の出荷管理の徹底に、引き続き取り組んでいきます。</p>
<p>写真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>写真1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>写真2</p> </div> </div>
<p>写真タイトル</p>	<p>写真1 関係機関・団体を参集しての説明会          写真2 モニタリングの進め方について説明する当所担当者</p>
<p>担当部署</p>	<p>農業振興普及部</p>
<p>振興方向</p>	<p>1 東日本大震災及び原子力災害からの復興加速化</p>

<p>題名</p>	<p><b>山木屋地区で「高原のそばまつり」の開催！</b></p>		
<p>本文</p>	<p>令和5年5月7日（日）、川俣町山木屋地区で、「高原のそばまつり」が開催されました。</p> <p>山木屋地区は、阿武隈高地に位置し冷涼な気候を活かして、昔から良質なそばが作られてきました。しかし、東日本大震災の影響により、一時そばの栽培が困難な状況になりましたが、平成30年に再開され、令和4年に「高原の<sup>そら</sup>宇宙」として商標登録を取得しました。</p> <p>「高原のそばまつり」当日は雨模様でしたが、用意した「高原の<sup>そら</sup>宇宙」は飛ぶように売れました。</p> <p>しっかりとしたコシのあるそばは大好評で、参加者からは「噛めば噛むほど口の中にそばの豊かな風味が広がり、そば湯まで大満足」との声が聞かれました。</p> <p>「高原の<sup>そら</sup>宇宙」は、山木屋地区内にある語らい処「やまこや」で食べることが出来ます。皆様も、是非一度お召し上がりください。</p>		
<p>写真</p>			
	<p>写真1</p>	<p>写真2</p>	
			
	<p>写真3</p>	<p>写真4</p>	
<p>写真タイトル</p>	<p>写真1 作業の様子          写真2 並ぶ人々          写真3 盛られる「高原の<sup>そら</sup>宇宙」          写真4 「高原の<sup>そら</sup>宇宙」</p>		
<p>担当部署</p>	<p>農業振興普及部</p>		
<p>振興方向</p>	<p>1 東日本大震災及び原子力災害からの復興加速化</p>		






<p>題名</p>	<p>「令和5年度県北地方新規就農者等確保・育成連携会議」を開催 しました！</p>
<p>本文</p>	<p>令和5年5月31日（水）、福島市の杉妻会館において、当所主催による「令和5年度県北地方新規就農者等確保・育成連携会議」を開催しました。当日は、県北管内の市町村、JAふくしま未来、農業振興公社の担当者等、約40名が参加しました。</p> <p>会議では、地域おこし協力隊と新規就農の事業を活用した「県北型移住就農支援モデル」の説明と、先行して取り組んでいる桑折町、川俣町の事例紹介、各市町村の新規就農支援の取組、本年度4月に設置された「農業経営・就農支援センター」などについて紹介しました。</p> <p>構成員が情報共有を図ることで、今後、さらに新規就農者の確保・育成の取組が前進することが期待されます。</p> <p>当所では、今後も、関係機関・団体と連携して新規就農者への支援を継続していきます。</p>
<p>写真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>写真1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>写真2</p> </div> </div>
<p>写真タイトル</p>	<p>写真1 家久来克之所長の挨拶 写真2 会議の様子</p>
<p>担当部署</p>	<p>農業振興普及部</p>
<p>振興方向</p>	<p>2 農林業の持続的な発展を支える担い手の確保・育成と生産基盤の強化</p>

<p>題名</p>	<p><b>農業水利施設合同診断</b></p>		
<p>本文</p>	<p>本県には、ダム・ため池や頭首工、用排水機場などの施設が約 7,000 箇所あるほか、受益面積 100 ha以上の基幹的な用排水路も延長約 1,000 kmに及ぶなど膨大な農業水利施設があります。</p> <p>これらの施設には造成から相当な年数を経たものも多く、順次更新時期を迎えますが、国、地方公共団体及び土地改良区等においては厳しい財政状況が続いているため、施設の機能喪失の予防、性能低下の抑制や回復を行いながら、有効活用を図ることが不可欠となっています。</p> <p>当所では、農業水利施設の計画的な改築更新を行い、老朽化による機能停止を未然に防ぐことを目的として、作付けに向け農業水利施設の使用を再開する4月を「施設管理強化月間」と位置づけており、毎年、点検・診断を行っています。</p> <p>点検・診断の対象としている農業水利施設のうち、岳ダムなど管内にある8施設については、施設管理者と当所の合同診断を行うこととしており、令和5年5月15日（月）から実施しました。</p> <p>今回の点検・診断の結果、専門技術者による知見が必要と判断されたものについては、後日あらためて詳細な診断を行います。</p>		
<p>写真</p>			
	<p>写真1</p> 	<p>写真2</p> 	
<p>写真タイトル</p>	<p>写真1 岳ダム堤体の点検診断          写真2 油井川頭首工(二本松市)の点検・診断（取水ゲート操作盤）          写真3 ミッ森溜池の点検・診断（洪水吐）          写真4 大谷戸溜池の点検・診断（余水吐）</p>		
<p>担当部署</p>	<p>農村整備部</p>		
<p>振興方向</p>	<p>2 農林業の持続的な発展を支える担い手の確保・育成と生産基盤の強化</p>		

<b>題名</b>	<b>ため池等整備 0401 工事 荒池地区現地研修会</b>
<b>本文</b>	<p>当所では、職員の技術向上、若手職員への現場指導強化の一環として現地研修会を開催しています。</p> <p>近年、自然災害が頻発化・激甚化する中、今後も発生しうる災害に備えるため、国土強靱化対策が推進されており、防災重点ため池（決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設等が存在し、人的被害を与えるおそれのあるため池）改修の増加が想定されます。</p> <p>そこで、令和5年4月12日（水）ため池等整備 0401 工事 荒池地区の現場で現地研修会を開催し、底樋（止水壁含む）の据付方法を見学するとともに、ため池整備工事について学びました。</p> <p>参加者（13名）からは、「プレキャスト底樋の止水する仕組みが理解できた」、「貴重な機会が参考になった」、「自分が担当するときの参考としたい」との意見が聞かれました。</p> <p>当所では、今後も研修会を開催し職員の技術力を高め、県民の皆様が安心できる施設整備に努めていきます。</p>
<b>写真</b>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p style="text-align: center;">写真1</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p style="text-align: center;">写真2</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p style="text-align: center;">写真3</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p style="text-align: center;">図1</p> <p style="font-size: small; text-align: center;">※「ため池管理マニュアル」平成27年10月 農林水産省農林振興局 整備部 防災課より引用</p> </div> </div>
<b>写真タイトル</b>	<p>写真1 たため池概要説明状況</p> <p>写真2 プレキャスト底樋据付状況見学</p> <p>写真3 プレキャスト止水壁据付状況見学</p> <p>図1 たため池説明図（底樋）</p>
<b>担当部署</b>	農村整備部
<b>振興方向</b>	2 農林業の持続的な発展を支える担い手の確保・育成と生産基盤の強化





<p>題名</p>	<p><b>国見町貝田地区 ほ場整備事業竣工記念碑の除幕式</b></p>
<p>本文</p>	<p>令和5年4月22日（土）、国見町大字高城字原地内で国見町貝田地区等ほ場整備地権者会の主催により竣工記念碑『「貝田山根地区を拓く」揮毫』の除幕式が行われ、国見町引地真町長と当所家久来克之所長が臨席し祝辞を述べました。</p> <p>貝田地区では、平成28年度から復興事業を活用してほ場整備を実施し、令和3年11月に全ての工事が完了しました。これにより26.6haの田及び畑の区画拡大、水田の汎用化・畑団地の造成及び農道・用排水路を整備しました。</p> <p>ほ場整備事業に併せて農地中間管理事業を活用し、共同営農機械の導入や農事組合法人コネクトファーム貝田を中心として農地の集約化を進め、貝田地区の農地集積率（ほ場整備区域面積に占める担い手の農地利用集積面積割合）を整備前の1割強から8割以上にまで向上させたほか、省力化した労働力を果樹ももの生産へ振り分けるなど、水稻・果樹・野菜の複合経営を実現しています。</p>
<p>写真</p>	<div style="text-align: center;">  <p>写真 1</p>  <p>写真 2</p> </div>
<p>写真タイトル</p>	<p>写真1 除幕式 写真2 地区全景</p>
<p>担当部署</p>	<p>農村整備部</p>
<p>振興方向</p>	<p>2 農林業の持続的な発展を支える担い手の確保・育成と生産基盤の強化</p>

<p>題名</p>	<p><b>地すべり防止区域定期点検の実施</b></p>	
<p>本文</p>	<p>防災・減災対策の推進を図るため、令和5年5月12日（金）に地すべり防止区域の点検を行いました。</p> <p>地すべり防止区域とは、地すべりしているか地すべりする恐れがある区域で、国土交通大臣・農林水産大臣が指定しています。東沢地区は昭和62年に区域指定された後、地すべりの発生を抑えるための杭打工や水抜きボーリング孔の設置工事が行われてきました。</p> <p>当所においては、定期点検を実施し、地形の変動や地すべり防止施設の劣化状況の診断に取り組んでいます。また昨年度は、点検結果に基づき、経年劣化による不具合が生じていた看板の更新・水抜きボーリング孔接続管の更新を行いました。</p> <p>当所としては、引き続き地すべり防止区域の維持管理に務め、農地の安全確保に取り組んでいきます。</p>	
<p>写真</p>	 <p>写真1</p>	 <p>写真2</p>
<p>写真タイトル</p>	<p>写真1 地すべり防止施設周辺の草刈り 写真2 水抜きボーリング孔接続管</p>	
<p>担当部署</p>	<p>農村整備部</p>	
<p>振興方向</p>	<p>2 農林業の持続的な発展を支える担い手の確保・育成と生産基盤の強化</p>	





<p>題名</p>	<p><b>J Aふくしま未来伊達地区本部「農業塾」が開講しました！</b></p>		
<p>本文</p>	<p>令和5年5月25日（木）、伊達市保原町のJ Aふくしま未来伊達地区本部において、令和5年度J Aふくしま未来伊達地区本部農業塾開講式が開催されました。</p> <p>農業塾は、産地の新たな担い手となる農家の育成を目的として平成19年から実施しており、今年で15回目を迎えました。農業塾のコースは、伊達地域の基幹品目である、「もも」「きゅうり」「あんぼ柿」の3コースがあり、それぞれ年6回の講座を通して、栽培管理技術や病虫害防除などの内容を、今年度は、「もも」コース9名、「きゅうり」コース16名、「あんぼ柿」コース5名、計30名の受講者が座学や現地ほ場で学ぶ予定となっています。</p> <p>開講式では、主催するJ Aふくしま未来菅野栄寿伊達地区本部長の挨拶に続いて、当普及所渡邊敏弘所長が受講者へ期待を込めた祝辞を述べました。</p> <p>開講式終了後は、各コースに分かれて第1回目の講座が行われました。</p> <p>本農業塾は、園芸産地を支える担い手を育成するための重要な取組であり、当所としてもJ Aと緊密に連携して活動を展開していきます。</p>		
<p>写真</p>			
			
<p>写真タイトル</p>	<p>写真1 渡邊敏弘伊達農業普及所長による開講式祝辞          写真2 講義の様子（「きゅうり」コース）          写真3 講義の様子（「もも」コース）          写真4 講義の様子（「あんぼ柿」コース）</p>		
<p>担当部署</p>	<p>伊達農業普及所</p>		
<p>振興方向</p>	<p>2 農林業の持続的な発展を支える担い手の確保・育成と生産基盤の強化</p>		

<p>題名</p>	<p><b>地域産業 6 次化の推進と企画推進員の御紹介</b></p>
<p>本文</p>	<p>地域産業 6 次化は「1 次産業（農林漁業）」「2 次産業（加工）」「3 次産業（流通・販売）」の融合により、農林水産物に新たな価値を加え、農山漁村における所得の向上、収益性の改善、雇用の確保に結びつけ、農林漁業の発展と農山漁村の活性化を目指す取組です。</p> <p>当所では、6 次化に関心と意欲のある個人や団体に構成する「けんぼく 6 次化ミーティング」の活動を支援し、交流会の開催や各種情報提供を行っています。</p> <p>また、ふくしま農山漁村発イノベーションサポートセンター（ふくしま地域産業 6 次化サポートセンター）などの関係機関と連携して、県北地方の地域産業 6 次化を推進する取組を行っています。</p> <p>ふくしま農山漁村発イノベーションサポートセンターは、6 次化に取り組んでいる方や取り組んでみたい方に対して、各地区の企画推進員が相談者の内容に応じて、専門家（イノベーター）の派遣や加工業者の紹介などのサポートを行っています。</p> <p>【県北地区の企画推進員の紹介】</p> <p>農林水産物を活用して、新しいチャレンジをお考えの方は、まず、企画推進員に御相談ください。担当の古関企画推進員は、自ら 6 次化商品を開発・販売していた経験から、生産者では気づきにくい点やお客様の目線での的確なアドバイスをしてくれます。</p> <p>これから 6 次化商品を作ろうと考えている方、販売方法で悩んでいる方も、ぜひ一度、古関企画推進員に相談してみてください。</p> <p>住所：〒960-8042 福島市荒町 4 - 7  福島県再生可能エネルギー合同ビル 2 階（㈱ライフロール内）</p> <p>電話：080-9250-1303  メール：<a href="mailto:6r@life-role.jp">6r@life-role.jp</a></p>
<p>写真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>イラスト 1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>写真 1</p> </div> </div>
<p>写真タイトル</p>	<p>イラスト 1 古関企画推進員のイメージイラスト  写真 1 6 次化商品</p>
<p>担当部署</p>	<p>企画部</p>
<p>振興方向</p>	<p>3 安全で魅力的な農林産物の安定供給と販売促進</p>

<p>題名</p>	<p><b>大玉村で福島県トップブランド米「福、笑い」の田植え式を開催</b></p>
<p>本文</p>	<p>令和5年5月12日（金）、大玉村において、本格デビューから3年目となる福島県トップブランド米「福、笑い」の田植え式が、あだたらの里「福、笑い」研究会の伊藤洋氏の水田で行われました。</p> <p>知事、押山大玉村長、大玉村の小中学生、福島大学や県農業総合センター農業短期大学の学生など合わせて15名が、あだたらの里「福、笑い」研究会会長の今井雄治氏から植え方のポイントを教わり、心を込めて手植えしました。</p> <p>参加者からは、「元気に育ってほしい」、「秋に食べるのが楽しみ」といった声がありました。</p> <p>当普及所では、「福、笑い」の現地実証ほを設置し、調査結果に基づく栽培管理指導や、研究会の活動支援等を通して、高品質・良食味な「福、笑い」の生産を支援していきます。</p>
<p>写真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>写真1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>写真2</p> </div> </div>
<p>写真タイトル</p>	<p>写真1 参加者の集合写真          写真2 今井さん（一番右）から指導を受けながら手植えする内堀知事（右から2番目）ら</p>
<p>担当部署</p>	<p>安達農業普及所</p>
<p>振興方向</p>	<p>3 安全で魅力的な農林産物の安定供給と販売促進</p>





<p>題名</p>	<p><b>「田んぼの学校 開校式・田植え」を行いました！</b></p>
<p>本文</p>	<p>5月26日（金）、今年度の「田んぼの学校」が開校し、実践モデル校の二本松市立東和小学校の5年生児童27名が「つなぐ棚田遺産」に選定された「東和の布沢棚田」で、田植えを行いました。</p> <p>開校式では、田んぼの学校長の菅野金一氏、東和小学校の肥沼志帆校長、当所の渡邊長農村整備部長の挨拶があり、農村整備部長から児童たちに「食べ物や命」、「自然や生き物」、「人と人のつながり」の大切さを学んでほしいとの話がありました。</p> <p>田植えでは、「布沢の環境を守る会」会長の菅野正寿氏から児童達に、田植え作業のお手本が示され、最初は田んぼに入るのがやっとだった児童もしっかり田植えができるようになりました。児童からは「泥や虫にもだんだん慣れてきて、田植えがとても楽しくなってきた。」といった感想が聞かれました。</p> <p>今後、10月には稲刈り、11月には脱穀作業、12月には収穫祭（餅つき大会）が予定されています。収穫したお米で作ったお餅をおいしくいただくのが今から楽しみです。</p>
<p>写真</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>写真1</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>写真2</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>写真3</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>写真4</p> </div> </div>
<p>写真タイトル</p>	<p>写真1 菅野氏による田植えの説明          写真2 田んぼを前にして          写真3 上手になりました          写真4 みんなでピース</p>
<p>担当部署</p>	<p>農村整備部</p>
<p>振興方向</p>	<p>4 豊かな農山村の形成と活性化</p>



<p>題名</p>	<p><b>森林保全巡視員への辞令交付について</b></p>
<p>本文</p>	<p>当所管内には、1,471ha の県営林と 7,511ha の保安林があります。</p> <p>県営林は、県が間伐などの施業を実施し、森林資源の維持増進や地域林業の活性化などを図っている森林です。保安林は、水源のかん養や山地災害の防止など、森林の持つ公益的機能を確保するため、立木の伐採制限や治山事業の実施等により管理している森林です。</p> <p>この県営林や保安林の適正な保全管理を推進するため、令和 5 年 4 月 3 日（月）、今年度の森林パトロール活動を行う 6 名の森林保全巡視員の方に辞令を交付しました。</p> <p>巡視員の活動から得られる声は、県営林や保安林で古くなった標識の交換などの事業や、違法な伐採や開発行為などの確認・把握に活用されています。</p> <p>森林保全巡視員のパトロール活動中は、腕章や名札を付けて行っていますので、巡視活動について皆様の御理解と御協力をお願いします。</p> <p>当所では、任用した 6 名の森林保全巡視員の方々と共に、県営林・保安林における林木の生育状況の確認や林地崩壊の早期発見に努め、適正な保全管理を行っていきます。</p>
<p>写真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>写真 1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>写真 2</p> </div> </div>
<p>写真タイトル</p>	<p>写真 1 家久来所長（左から 4 人目）より辞令書の交付を受けた森林保全巡視員          写真 2 巡視対象の保安林（水林自然林）</p>
<p>担当部署</p>	<p>森林林業部</p>
<p>振興方向</p>	<p>4 豊かな農山村の形成と活性化</p>





題名	国見小学校児童が「天のつぶ」の田植えをしました	
本文	<p>令和5年5月9日（火）、農業や農作物への理解を深め、食の恵みや豊かさ大切さを伝えるため、国見小学校5年生児童54名を対象とした農業体験学習（田植え作業）が開催されました。</p> <p>当日、地域の中心的な担い手である小坂アグリ株式会社の管理する水田において、福島県オリジナル品種の「天のつぶ」を、関係機関・団体・当普及所職員のサポートにより児童達が手植えをしました。</p> <p>児童たちは、初めて素足で田んぼに入り、水田の生き物と触れあいながら慣れない田植え作業を楽しんでいる様子でした。</p> <p>代表児童からは「貴重な経験をすることができた」、「これまで泥に入るのが苦手だったが、苦手ではなくなった」などの感想や感謝の言葉が聞かれました。</p> <p>秋には稲刈りの農業体験学習が予定されており、今後も関係機関と連携しながら安全・安心な米作りや食育活動を支援していきます。</p>	
写真		
	<p>写真1</p>  <p>写真3</p>	<p>写真2</p>  <p>写真4</p>
写真タイトル	<p>写真1 田植え前のサポートメンバーによる入念な打合せ</p> <p>写真2 小坂アグリ株式会社による子供たちへの田植え前の説明と注意事項</p> <p>写真3 町、当普及所職員も一緒に田植</p> <p>写真4 田植え後に用水路で泥だらけの手足を洗い</p>	
担当部署	伊達農業普及所	
振興方向	4 豊かな農山村の形成と活性化	



<p>題名</p>	<p>県オリジナル酒造好適米品種「福乃香」でつくられたオール本宮のお酒が完成</p>
<p>本文</p>	<p>本宮市の若手農業者による組織「本宮若手農業団」と同市の大天狗酒造株式会社の連携によるオール本宮の日本酒「なないろ」の第1弾が完成し、令和5年4月20日（木）に発売されました。</p> <p>本宮若手農業団は、若い力で農業を盛り上げ農業者所得の向上を図り本宮市の発展に寄与することを目的に令和2年に設立され、本宮市の20代～50代の農家ら計15名で活動しています。</p> <p>令和4年から団員2名が県オリジナル酒造好適米品種「福乃香」の作付を開始し、収穫された米は大天狗酒造にて醸造され、完成した純米吟醸酒は「なないろ」と命名されました。</p> <p>当普及所では、2名のほ場を現地実証ほに位置づけ、生育調査と調査結果に基づく栽培管理指導を行い、高品質な福乃香が収穫されました。</p> <p>令和5年は、新たに団員1名が「福乃香」の作付に加わり栽培者が3名となり、取組が拡大しています。引き続き、実需者と結びついた「福乃香」の地産地消の取組を支援していきます。</p>
<p>写真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>写真1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>写真2</p> </div> </div>
<p>写真タイトル</p>	<p>写真1 「福乃香」の田植えを行う本宮若手農業団のみなさん（令和4年5月）          写真2 完成したお酒のPR（令和5年4月）          （左：本宮若手農業団 団長 橋本さん、右：大天狗酒造株式会社 杜氏 小針さん）</p>
<p>担当部署</p>	<p>安達農業普及所</p>
<p>振興方向</p>	<p>4 豊かな農山村の形成と活性化</p>

題名	「指定棚田地域の指定」を受けた管内の棚田の紹介	
本文	<p>棚田の保全と、棚田の有する多面的機能の維持増進を図り、棚田地域の持続的発展を目的として、令和5年4月7日（金）、管内の「西谷棚田」と「大木戸の棚田」が「指定棚田地域の指定」を受けました。</p> <p>「指定棚田地域」とは、棚田地域振興法に基づき、国が指定した地域で、福島県内で9地区の棚田が指定を受けています（令和5年4月現在）。</p> <p>当所管内では、令和3年4月の二本松市（旧太田村）「東和の布沢の棚田」に次ぐ指定となりました。</p> <p>「西谷棚田」は、二本松市（旧二本松町・岳下村）にあります。</p> <p>二本松市霞ヶ城公園西側に位置し、『龍泉寺と棚田・桜で魅力ある地域づくり』をテーマに掲げ活動しています。周辺的环境保全活動と田植え、馬鈴薯掘り、稲刈りなどの農作業体験や生き物観察会をとおして、棚田機能の維持発展と棚田の良さを広くPRしながら、棚田地域の活性化に取り組んでいます。今年度は、棚田地域で生産した米や大豆を使った6次化商品の開発にも力を注いで活動する計画です。</p> <p>「大木戸の棚田」は、国見町（旧大木戸村）にあります。</p> <p>宮城県境の国道4号線から一望できる、管内最大の棚田は絶景そのものです。26haの棚田を含む農地を維持するため、耕作放棄地の防止や復田作業などに取り組む一方で、有害鳥獣防護柵を設置し鳥獣被害の防止活動も行っています。今後は、棚田と旧奥州街道貝田宿屋号と大木戸集落の国有形文化財「松田家住宅」を核として、旧大木戸村を中心に写真撮影スポットとして整備を進める計画です。</p> <p>当所としては、棚田を中心とした地域活動の活性化に向けて引き続き支援していきます。</p>	
写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>写真1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>写真2</p> </div> </div>	
写真タイトル	<p>写真1 早乙女姿での田植え作業（西谷棚田）</p> <p>写真2 田植えを終えた大木戸の棚田の全景</p>	
担当部署	企画部	
振興方向	4 豊かな農山村の形成と活性化	

<p>題名</p>	<p><b>豪雨災害 備えていますか？</b></p>
<p>本文</p>	<p>例年、梅雨の時期から秋にかけて、台風や豪雨による被害が発生しています。家の周りにある危険箇所の確認や、避難所並びに避難経路の見直しなど、豪雨災害への備えをお願いします。</p> <p>ハザードマップや山地災害危険地区などの防災情報については、各市町村の防災計画又は下記 HP を参考にしてください。</p> <p>【防災に役立つ情報(県内のハザードマップや防災ガイドブックなど)】  ○ふくしまぼうさいウェブ(県危機管理課)：  <a href="https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/bousai/">https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/bousai/</a></p> <p>【県内の山地災害危険地区情報】  ○ふくしま森まっぷ(県森林計画課)：<a href="https://www2.wagmap.jp/fukushima-shinrin/Portal">https://www2.wagmap.jp/fukushima-shinrin/Portal</a></p>
<p>写真</p>	 <p style="text-align: center;">HP トップ画面 1</p>  <p style="text-align: center;">HP トップ画面 2</p>
<p>写真タイトル</p>	<p>HP トップ画面 1 「ふくしまぼうさいウェブ」のページ  HP トップ画面 2 「ふくしま森まっぷ」のページ</p>
<p>担当部署</p>	<p>森林林業部</p>
<p>振興方向</p>	<p>5 その他</p>